

5 ボランティア活動

1年間に「ボランティア活動」を行った人は34万6千人、行動者率は27.4%

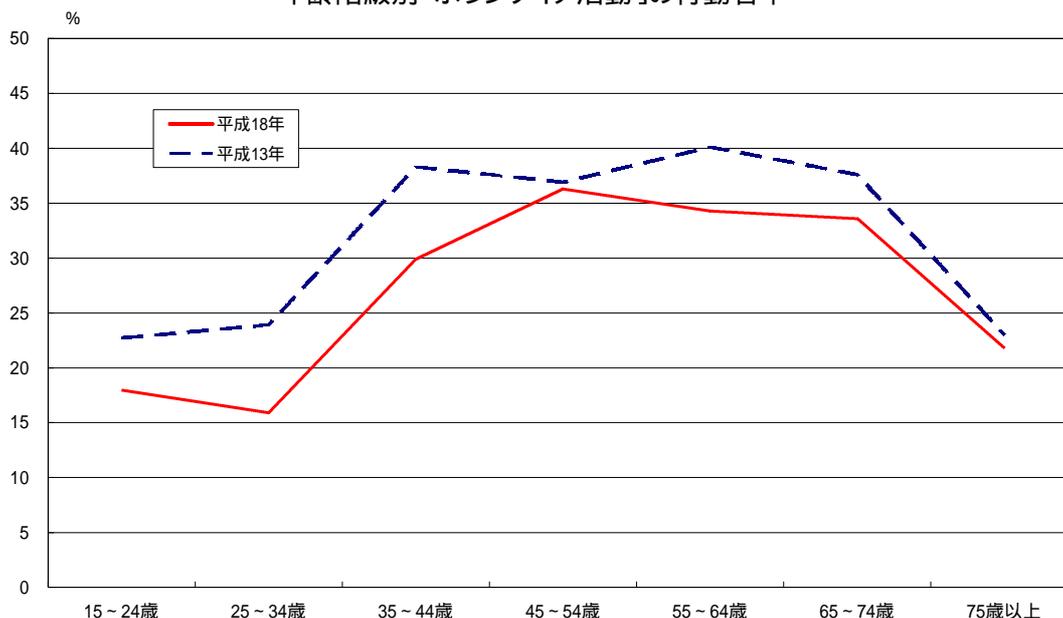
過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は34万6千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は、27.4%で、全国平均より1.2ポイント上回っている。行動者率を平成13年と比較すると、4.8ポイント低下している。

行動者率を男女別に見ると、男性は27.5%（行動者数16万4千人）、女性は27.3%（18万1千人）で男性が女性より高くなっている。これを平成13年と比較すると、男性は3.1ポイント、女性は6.3ポイント、低下している。

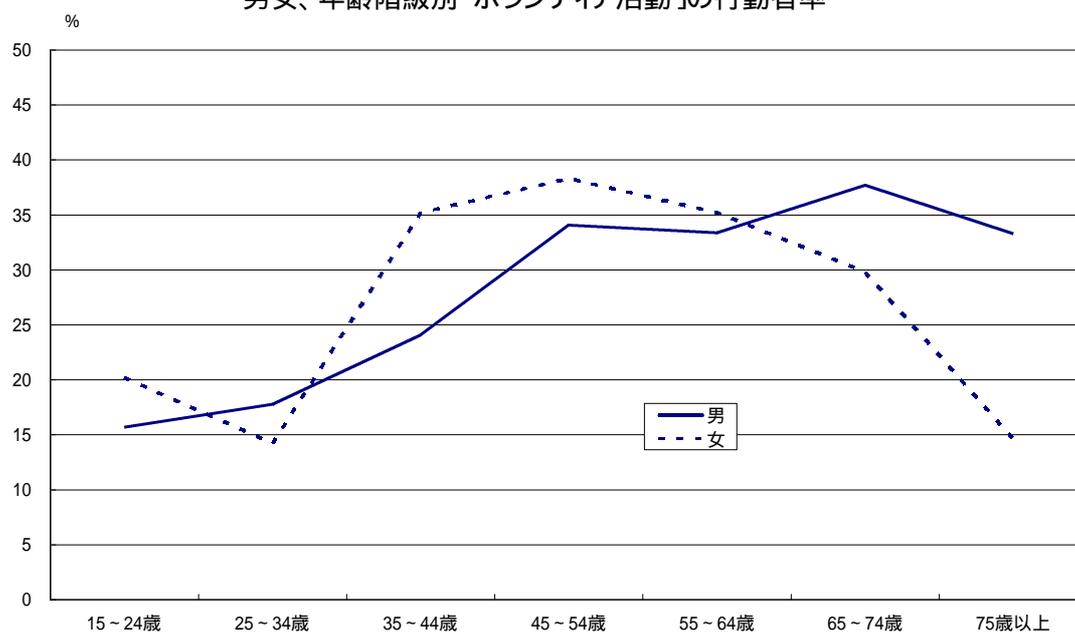
45～54歳で最も高い「ボランティア活動」の行動者率

「ボランティア活動」の行動者（15歳以上人口）率を年齢階級別にみると、45～54歳で36.3%と最も高く、逆に25～34歳が15.9%と最も低くなっている。平成13年と比較するとすべての年齢階級で低下している。行動者率を男女別にみると、男女とも45～54歳で高くなっている。（男性34.1%、女性38.3%）

年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率



男女、年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率



行動者率が最も高いのは「まちづくりのための活動」

「ボランティア活動」を行った人を種類別にみると、「まちづくりのための活動」が17万3千人（行動者率13.7%）と最も多く、次いで、「自然や環境を守るための活動」が7万1千人（5.6%）、「子供を対象とした活動」が6万人3千人（5.3%）となっており、「まちづくりのための活動」の行動者率は、全国平均より1.7ポイント上回っている。

「子供を対象とした活動」の行動者率が高い35～44歳の女性

「ボランティア活動」の行動者（15歳以上人口）率が高い種類を男女ごと年齢階級別にみると、「安全な生活のための活動」は、男性は65～74歳で、女性は35～44歳で最も高くなっている。「まちづくりのための活動」は、男性は65～74歳で、女性は45～54歳で最も高くなっている。

また、男性と女性で行動者率の大きさが年齢階級で大きく違う種類をみると、「子供を対象とした活動」は、35～44歳の女性が際立って高い。

男女別「ボランティア活動」の種類別行動者率

